

令和2年度 山形県公立大学法人
第6回経営審議会
第6回教育研究審議会（米沢栄養大学）
第6回教育研究審議会（米沢女子短期大学）
議事録

1 日 時 令和3年3月11日（木） 10：00～11：55

2 場 所 C号館1階 C101教室（オンライン参加と併用）

3 出席者

<経営審議会>

（出席） 学内委員：阿部理事長、佐藤理事、大和田理事、菌部理事、松井理事

学外委員：加藤理事、清野理事、宮原委員、黒田委員

（欠席） 学内委員：金光理事

※委員10名中9名出席、定款第16条の規定により会議成立

<教育研究審議会（米沢栄養大学）>

（出席） 学内委員：阿部学長、大和田理事、成田委員、高橋委員、大益委員

学外委員：清野理事、吉池委員、渋江委員

（欠席） 学内委員：金光理事

※委9名中8名出席、定款第20条の規定により会議成立

<教育研究審議会（米沢女子短期大学）>

（出席） 学内委員：阿部学長、菌部理事、松井理事、高橋委員、鈴木委員

学外委員：清野理事、中島委員、結城委員

※委員8名中8名出席、定款第20条の規定により会議成立

<監事>

（欠席） 五十嵐監事、山上監事

<事務局職員>

（出席） 菊川次長、浜田課長、高橋課長、鈴木専門員、小林主査、境主査、金谷主事

4 議事録署名人の指名

阿部理事長から、宮原委員（経営審議会）、渋江委員（教育研究審議会[栄養大]）、菌部理事（教育研究委員会[米短大]）の3名が議事録署名人に指名された。

5 報 告

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

事務局から報告資料1により報告がなされた。

(2) 令和3年度入学者選抜について

事務局から報告資料2により報告がなされた。

(3) 令和2年度卒業予定者の進路状況について

事務局から報告資料3により報告がなされた。

(4) 山形県立米沢栄養大学教員の公募について

事務局から報告資料4により報告がなされた。

6 協 議

(1) 令和2年度補正予算（案）について

事務局から協議資料1により説明がなされ、案のとおり補正予算が承認された。

宮原委員から、特定寄付金収入とはどのようなものかとの質問があった。これに対し、事務局から、教員に対する外部からの少額寄付金であるとの説明がなされた。

(2) 山形県公立大学法人第3期中期目標（案）及び中期計画（案）について

事務局から協議資料2-1、2-2により説明がなされ、中期計画（案）については、法人評価委員会から修正が求められた場合、重大なことでない限り対応を法人に一任することとされた。

(3) 令和3年度年度計画（案）及び当初予算（案）について

事務局から協議資料3-1から3-4により説明がなされ、案のとおり年度計画及び当初予算が承認された。

宮原委員から、予算を見ると受託研究収入が少ない。受託研究を生み出すためには、アプローチの仕方など、実践プログラムを作ることが重要。計画では、研究成果を地域に還元するため、企業などと連携するといつも書かれてはいるが、これまでは取組みの検証があまりなされてこなかったと感じている。今後は戦略マップを作り、プロジェクトとして取り組んでほしいとの発言があった。これに対し、大和田理事から、来年度は連携協定を締結している大塚製薬との取組みを活発化させたいと考えており、例えば公開講座の実施などを計画しているとの発言があった。また、菌部理事から、生活文化研究所の共同研究事業として、来年度は4件の計画が出され審査している状況。この他、研究ではなく教育の話になるが、地域からの要請を受け、単位認定を目的としない聴講生制度についても導入に向けて取り組むこととしており、地域とのコラボレーションを進めたいとの発言があった。阿部理事長からは、様々取り組んでいるがお金に結びついていないという状況もあり、きちんと検証しながら取り組む必要があるとの発言があった。

結城委員から、当初予算で目的積立金取崩額を計上しているが、残額はどれぐらいあるのか。本年度末に決算剰余金が発生した場合は県に返すことなく繰り越せるのかとの質問があった。これに対し、事務局から、本年度末残高として3,000万円から3,100万円ほどを見込んでおり、そこから980万円を取り崩すことで予算を組んでいる。6月に決算が確定した時点で県に繰越を協議し、返還としないよう申し入れていくとの発言があった。

吉池委員から、コロナ禍で国際交流や国際学会の参加もオンラインを活用して実現できるようになっているが、こうした部分でこれまでの取組みの変更の予定はあるかとの質問があった。これに対し、大和田理事から、これまでは国際的に活躍する管理栄養士から対面で話を聞く機会を設けていたが、コロナ禍でもあり、来年度はフィリピンで活躍する管理栄養士とオンラインでつないで実施できないかという話が出ているとの発言があった。

吉池委員から、オンラインで実施する際は、可能なら是非青森県立保健大学とも合同で行っていただきたいとの発言があった。

黒田委員から、他の委員から発言のあった地域貢献や国際化のほかキャリア開発でも、これまでとは違った可能性が生まれてきている。これは大学にとっても地域にとってもチャンスであり、様々な取組みを一本につなげるような戦略を考えてほしいとの発言があった。

中島委員から、栄養大における国際化とは何を目標にしているのかとの質問があった。これに対し、阿部理事長から、山形大学のように留学生をたくさん受入れる訳にはいかないが、地域だけでなく世界に開かれた大学を教員には意識してもらう必要があるとの説明があった。

吉池委員から、栄養はグローバルイシューとして注目されている。SDGsが出来て、栄養に関する日本の取組みを世界に広めようと、栄養サミットが日本で開催されることになり、コロナ禍で

1年延期にはなったが、機運は高まっている。グローバルイシューとしての栄養を理解し、ローカルな地域にあっても、きちんと考えていくことが極めて重要であり、国際化の点でも青森県立保健大学と栄養大で連携していきたいとの発言があった。

黒田委員から、SDGsとして栄養を地球規模で課題解決を考える必要があるとの意識を持ちながら、ローカルに活動することがそこにつながっていくと考えており、国際化とは外に飛び出していくことだけではないとの発言があった。

加藤理事から、商工会議所の専門指導員制度について、従来の特許や税などの事務的な支援から、ポストコロナを見据えて事業承継や新分野開発などに取組みを充実させていくことにしている。その中でフードビジネス分野については栄養大の力も借りたいという案がある。既に、様々な分野で山形大学、東北芸術工科大学、宮城大学とは協議しており、今後、栄養大とも相談する予定であるとの発言があった。

(4) 山形県立米沢栄養大学教員の任用（採用）について

事務局から協議資料4により説明がなされ、案のとおり教員の採用が承認された。

吉池委員から、当該人物についての大学院進学の考えについて質問があった。これに対し、大和田理事から、当該人物は公務員志望であり大学院への進学希望はないとの説明がなされた。

吉池委員から、助手をしながら大学院に進む手法を上手く活用すれば、本人にとっても大学にとっても良いことではないかとの発言があった。

(5) 山形県立米沢女子短期大学教員の任用（採用）について

事務局から協議資料5-1、5-2により説明がなされ、案のとおり教員の採用が承認された。

(6) 山形県立米沢女子短期大学教員の任用（昇任）について

事務局から協議資料6により説明がなされ、案のとおり教員の昇任が承認された。

(7) 職員の懲戒について【追加】

事務局から追加の協議資料により説明がなされ、案のとおり職員の懲戒が承認された。

(8) 山形県公立大学法人物品等又は特定役務の調達手続の特例に関する事務取扱規程の一部改正について

事務局から協議資料7により説明がなされ、案のとおり規程の改正が承認された。

(9) 山形県立米沢女子短期大学学則の一部改正について

事務局から協議資料8により説明がなされ、案のとおり学則の改正が承認された。

7 その他

(1) 次回以降の審議会の開催日程について

事務局からその他資料1により説明がなされ、次回の教育研究審議会（栄養大）は書面審議とすることが了承された。

(2) その他

中島委員から、山形大学、栄養大、米短大の合同で開催した企業説明会に、連日700名ほどの学生の参加を得ることができた。コロナ禍において今後も力を合わせて学生を支援していきたいとの発言があった。

【配付資料】

- 報告資料1 新型コロナウイルス感染症に関する対応について
- 報告資料2 令和3年度入学者選抜について
- 報告資料3 令和2年度卒業予定者の進路状況について

- 報告資料4 山形県立米沢栄養大学教員の公募について
- 協議資料1 令和2年度補正予算（案）について
- 協議資料2－1、2
山形県公立大学法人第3期中期目標（案）及び中期計画（案）について
- 協議資料3－1、2、3、4
令和3年度年度計画（案）及び当初予算（案）について
- 協議資料4 山形県立米沢栄養大学教員の任用（採用）について
- 協議資料5－1、2
山形県立米沢女子短期大学教員の任用（採用）について
- 協議資料6 山形県立米沢女子短期大学教員の任用（昇任）について
- 追加協議資料 職員の懲戒について
- 協議資料7 山形県公立大学法人物品等又は特定役務の調達手続の特例に関する事務取扱規程の一部改正について
- 協議資料8 山形県立米沢女子短期大学学則の一部改正について
- その他資料1 次回以降の審議会の開催日程について

議長 理事長(兼)学長

議事録署名人

議事録署名人

議事録署名人